

愛知工業大学附属中学校  
二年A組 服部泰睦

ぼくが録音で  
わけていたら  
どこからか  
「ニヤ」と聞え  
た。目をあけて  
あたりを見ると  
なみに  
「マメ」がよこ  
すわつていた。  
「マメ」とよぶ  
「ニヤ」とない  
た。目をあけて  
うす目をあけて  
見ていたら  
マメは近づいて  
きて、  
ぼくの内はくも  
震入ってしまった

# 風雪60年を迎え

## 更に

# 大海を目指し...



名古屋電気学園理事長  
愛知工業大学学長

## 後藤 淳先生

創立以来、六〇年を迎え  
た学園を大河にたとえら  
ば、源流より深山幽谷、  
山嶽断崖を経て、漸く滔  
々と平野の一角に辿りつ  
いたマを演じ、なお大海  
を目指し...



発行所  
名古屋電気学園  
愛知工業大学短期大学部  
愛知工業大学工業高等学校  
愛知工業大学附属中学校  
同窓会本部  
名古屋市中区若水町1  
TEL (71)0201・0311

去る十一月十三日、午前九時より、愛知会館前広場に於いて、ご遺族をはじめ先先生の生前の知友ならびに学園関係者多数が参列のなか、胸像除幕式がおこなわれ行なわれました。先生の偉功は永遠にこの胸像と共に伝えられることでありまう。

(関連記事四頁に)

言ではないと思ひます。本学園が六十年の年輪を経て、この式典を迎えることが出来、これを契機に、私共若輩ではあるが、学園関係者一同の協力のもとに今後ますます発展向上に邁進する決意であります。これに報いる唯一の道と思ひます。

「初心忘るべからず」の先人の心を心として関係者一同、和に在し、一段の努力と精進を以てし、学園と共に生かす決意であります。幸い本年は希望の大学第一部の全学科(電気工学科、電子工学科、応用化学科、機械工学科、経営工学科、土木工学科、建築学科)の豊田市八千草台校舎の移転が完了し四月以降は面目を新たに、再出発しようと思ひます。

若者 最近あらちこらの小学校で、日曜日。父親参観日。というのがある。日曜日に参観日。は勤めに出ている。足運ぶことが出来ない父親に、学校の様子や子供たちの学習ぶりを見てもらい、日曜とく、勉強、教育なるものに無頓着、教育するものに無頓着、我が子への学習ぶり、少いものへの目をひいて貰おうという意図であろう。

学園沿革六〇年史  
明治四五年 七月 故後藤三郎先生により名古屋市中区若井町に名古屋電気講習所開設  
大正 元年 九月 名古屋市中区矢場町の民家(中川医院跡)を借り受け夜間授業を開始  
大正 元年 二月 名古屋電気学校設立認可  
大正 二年 四月 昼間部設置認可  
大正 二年 九月 第一回卒業式挙行、入学時200名を越えるも卒業せし者38名  
大正 五年 六月 名古屋市中区新栄町三の二に移転  
大正 四年 一月 後藤三郎校長病歿、嗣子後藤三郎先生継承  
昭和 二年 四月 名古屋千種区若水町一の一八に昼間部のみ移転  
昭和 二年 四月 名古屋電気中学校設置認可  
昭和 二年 四月 名古屋電気短期大学電気科(第一部)増設認可  
昭和 四年 二月 財団法人後藤学園を設立、後藤三郎先生理事長に就任  
昭和 四年 二月 名古屋電気高等学校校定課程電気科増設認可、名古屋電気学校を廃止  
昭和 二年 二月 名古屋電気短期大学電気科(第一部)増設認可  
昭和 三年 一月 名古屋電気短期大学電気科(第一部)増設認可  
昭和 三年 一月 名古屋電気短期大学電気科(第一部)増設認可  
昭和 三年 四月 名古屋電気短期大学を愛知工業大学に、名古屋電気高等学校校名を名古屋電気工業高等学校に改名  
昭和 三年 六月 創立五十周年記念式典挙行  
昭和 三年 七月 講義部落成スポーツの殿堂となる名古屋電気工業高等学校通常課程に普通科増設  
昭和 四年 四月 愛知工業大学大学院工学研究科修士課程設置  
昭和 四年 四月 愛知工業大学工学部第一部の入学定員を20名から450名に改めた  
昭和 四年 一月 八千草台に教養館、学寮の完工を見たので第一部一年次の授業を同校舎で実施  
昭和 四年 七月 学園理事長愛知工業大学学長、後藤三郎先生急逝。巨星落つるの感あり、子後藤淳先生継承  
昭和 四年 三月 愛知工業大学学長八千草台校舎に移転

## 創立六十周年

## 記念式典開かる

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

学校法人、名古屋電気学園の創立六十周年記念式典が菊香の十一月十一日、午前十時より、愛知県体育館で、稲葉文部大臣(代理)、「マメ」とよぶ「ニヤ」とないた。目をあけてうす目をあけて見ていたらマメは近づいてきて、ぼくの内はくも震入ってしまった

# 写真に見る ありし日の“オヤジさん”

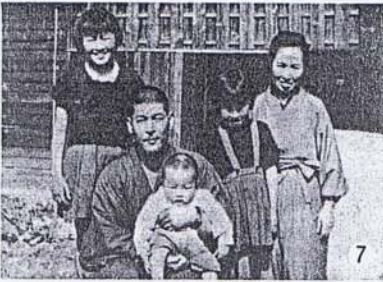
後藤鉀二先生が突然この地上から立ち去られたことを告げる悲しみは、知る人にとってはあまりにも大きく、惜しまれてあまりある。この師父の死は北斗の巨星が消えたような感じがする。先生は卓球というスポーツを通じ、歴史に残る、ビンボン外交なる言葉の生みの親であり、その果たした功績は誰れもが認めている。しかし、今はもう別世界の人と化してしまった。心静かになった今、改めて師の生前の御活躍を写真を通し回顧し、御冥福をお祈りします。



2



1



7



8



9

- ① 昭和四十二年十月埼玉国体で  
両陛下にご説明申し上げる学長
- ② 昭和四十六年 元旦
- ③ お孫さんに囲まれて
- ④ 昭和二十年頃
- ⑤ 愛和幼稚園児と共に
- ⑥ 昭和三十年頃
- ⑦ 昭和十九年頃
- ⑧ 昭和十年頃

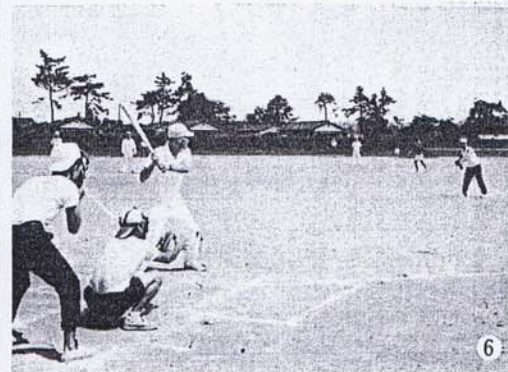
- ⑨ 昭和八年頃
- ⑩ 杉戸市長の祝賀会
- ⑪ 昭和四十四年十二月中国  
國務院總理周恩來氏と
- ⑫ 昭和三十九年藍綬褒賞受賞
- ⑬ 昭和四十六年中国を訪ねて
- ⑭ 昭和四十二年ストックホルム  
世界卓球選手権大会に優勝して
- ⑮ 国体団長として県旗をうける
- ⑯ 開学祝賀会



4



3



6



5

## 平和外交の偉人

### 後藤鉀二君へ捧ぐ

鈴木 翰

悲しみは限りなきなり若き日の君の眼鏡もほほえむ顔も卓球後汗をふきつつクローバの花に寝ころび語りあいたる関口バラ咲き満ち香る棚のべに未来の夢を語りし君は常びとの為し得ぬ業を為しとけて去りゆきにけりこのうつつし世を情熱のビンボン外交とうたわれて世界を変えぬ平和の道へ若き日の夢を実現し大星は地を去れるなり世界史変えて隣りなる大国とげに手をむすび平和の光世をつつみそめ卓球に平和の大志を託しつつ米中握手の日はいかに来て君の力偉大なりけりニクソンの訪中実現す君居まさねど君居まさばニクソン訪中のテレビ見て涙ふきけむこのわれのごと平和へのげに長かりし闘いはそこないしらむ君がからだを偉大なる人と語りし若き日はわれの心そだてて今もあるなり

(佐鳴より)

### 故後藤鉦二前学園長の経歴

- 明治39年2月 東京にて父後藤喬三郎氏、母きさきの二男として生まる
- 大正14年3月 愛知県明倫中学校卒
- 大正14年3月 名古屋電気学校創立者、後藤喬三郎先生死亡のため同校経営を継承
- 昭和3年12月 浜松高等工業学校電気科を家事都合により退学
- 昭和4年12月 第三師団幹部候補生として入営翌年除隊
- 昭和6年9月 林丈三郎氏二女すず子さんと結婚
- 昭和12年4月 日本卓球協会理事に就任
- 昭和19年4月 御盾工業株式会社、社長に就任(至20年8月)
- 昭和19年5月 名古屋電気学校長に就任
- 昭和20年9月 愛知県卓球協会々長に就任
- 昭和22年4月 名古屋市体育協会副会長に就任  
東海学生卓球連盟会長に就任
- 昭和24年2月 財団法人、後藤学園理事長に就任(昭和26年3月名古屋電気学園に変更)
- 昭和24年2月 名古屋電気高等学校を設立、同校、校長に就任
- 昭和25年 全国高等学校卓球部会長に就任
- 昭和27年4月 愛知県フェンシング協会会長に就任
- 昭和29年4月 日本卓球協会副会長に就任  
第21回世界卓球選手権大会日本選手団々長として渡英(於ロンドン)
- 昭和30年1月 名古屋市千種区剣道連盟会長に就任
- 昭和32年4月 日本フェンシング協会副会長に就任
- 昭和33年4月 名古屋市体育協会会長に就任
- 昭和35年4月 愛知工業大学学長に就任  
教育功労で知事表彰受賞
- 昭和36年11月 愛知県体育協会副会長に就任  
愛知県各なごな協会副会長に就任
- 昭和38年4月 愛知県バトミントン協会々長に就任
- 昭和39年5月 全日本剣道連盟より剣道教士の称号授与
- 昭和39年6月 私学振興功労により藍綬褒章を授与
- 昭和40年6月 日本学士会より教育部門のアカデミー賞を贈られ併せて同会の名誉会員となる
- 昭和41年4月 愛知幼稚園設立、理事長に就任
- 昭和43年4月 シア卓球連盟会長に就任
- 昭和43年4月 日本卓球協会々長に就任  
株式会社さなげゴルフ場社長に就任
- 昭和44年8月 浜松工業会々長に就任  
第29回世界卓球選手権大会日本団長として渡独(於ミュンヘン)
- 昭和45年4月 第10回アジア卓球選手権大会を名古屋で開催
- 昭和46年2月 世界卓球選手権大会に中国を招へいの為北京に向かう  
中部測量専門学院を設立同院長に就任
- 昭和46年3月 第31回世界卓球選手権大会を名古屋で開催
- 昭和47年1月 国際卓球連盟会長代理に就任  
22日心筋こうそく劇症性大動脈リゅうで逝去  
正四位勲二等瑞宝章を贈られる。



(1) 時間の正しいこと  
新幹線にのるのに、発車時刻の1時間近く前に駅につかれる習慣は有名であったが、いつの場合でも不測に對する配慮であることは後になって理解するようになった。

(2) 信念の人  
自分の正しいと信ずることに対しては信念をもって体あたりされたことを思い浮かべる。特に権力に対しては強く弱者に対して寛容であったこと、近くで仕えてひしひしと感したことであった。

例えば七十一年中国を訪問し、2A大会の国際会議場で、是は是、非は非、明

(1) 時間の正しいこと  
新幹線にのるのに、発車時刻の1時間近く前に駅につかれる習慣は有名であったが、いつの場合でも不測に對する配慮であることは後になって理解するようになった。

(2) 信念の人  
自分の正しいと信ずることに対しては信念をもって体あたりされたことを思い浮かべる。特に権力に対しては強く弱者に対して寛容であったこと、近くで仕えてひしひしと感したことであった。

例えば七十一年中国を訪問し、2A大会の国際会議場で、是は是、非は非、明

解な発言には舌をまいてし  
ました。到底中国では発言  
出来ないような「私は日本  
政府の下で生きているので  
その条件はのめない」とい  
う様な調子で、交渉は日  
本に対しては中国が涉んで  
一オクターブ下の提案  
をした様に想像されました。

(3) 恩義を忘れない  
あまり記載されなかったけ  
ど、長い年月のあいだにお世  
話になった方は本当によく  
覚えて居られ、恩義に対し  
相応の報恩をされたことで、  
一般人では忘れ去ってしま  
うようなことでも、先生は  
よく報いられたと全く頭の  
さがる思いで、そのことに  
ついてのお叱りをうけたこ  
と。

(4) スポーツに對して  
スポーツに對しては、常に  
情熱をもち指導施策に  
はげまされたことは知る  
ところであり、①スポーツを  
名譽を得るための肩書とす  
ることを特に知られてい  
た。純粋スポーツの立場で  
一生を律せられたこと、申  
すまでもない。

(5) 人間のやさしさの  
一面  
東南アジアへ遠征中、たし  
かマニラでのごとであった  
と記憶しているが、マニラ  
は先生の知人友人が多く朝  
昼夜とパーティの連続で、  
選手も身体が調子が悪く加  
えて猛暑で消耗がひどかつ  
たが、たまたまファイビーの  
協会長の招待パーティの夜  
女子選手の一人がひどく腹  
痛を起し、夜半十二時すぎ  
にうかがい、先生は現地役  
員と二人で女性生をつれて  
病院をさがし、治療  
をうけてホテルに帰られた  
のは午前二時をすぎた。  
私が連れてゆくといふのを  
「君は選手を連れてホテル  
に帰れ」と自分から病人を  
つれて治療をうけ大事にい  
たらなかつた。その日先生  
もおなかをこわし、マニラ  
の二日間はお茶だけで、つ  
かれました自分の身体のこと  
とは告げず女子学生のため  
に夜半まで(夜で病院を何  
軒かまわられた)看護され  
たことについて全く聞き  
がたがる思いが、常に選手  
である学生や生徒、一般学生  
生徒に對して親身に世話され  
たことは枚挙にいとまがな  
い。親以上に先生を慕っ  
ている数多い卒業生のこと  
を思い出さなくてはならない  
が、先生の靈の安らから  
あることが祈り稿を終ります  
(名電工教諭、日本卓球協会理事)

## 故学長をしのぶ

安藤 朗市

ものは役員としての資格は  
ないというのが借条であつ  
たと思う。大会会長として  
多くの開会式で挨拶をされ  
たが、大きな造花の会長章  
を胸につけたことがおきら  
いでも、挨拶にきたる直前  
に無理につけたことも度々  
であった。仕事もせず、指  
導もせず、大会の贈り物だ  
け大きな花をつけて壇上の  
役員席につらなる役員の方  
のことを常にながれていた  
ことと思ひ合せ、先生の  
心情を覗視した気持になつ  
たこともたびたびであつた。  
人間のやさしさの  
一面

# 遺徳 永遠に

## 故後藤鉦二先生の 胸像完成

昨年一月二十二日後藤鉦二先生が急逝され、か  
なしみの中に、二月二日名古屋電学学園、日本卓  
球協会合同葬行なわれ、その後、大天同志会会  
長、亀田先生を中心に胸像建立趣意書作製、醸金  
活動に入り、これと前後して、愛知県体育協会意  
義委員より是非協賛をの申し出があり、又中  
学、高校教職員からもあり、共同して先生の胸像  
建立を、去る十一月十三日学園本部の愛和会館の  
南東に終りに閉まれて建立されました、除幕式に際  
しては大矢覚明同志会長より「短期間から予想以  
上の皆さまの温かい御協賛を賜り発起人一同を代  
表し、厚く御礼申し上げます」との感謝の意を表  
され除幕式を終了。胸像を拝見しますと、後藤  
鉦二先生の古武士の面影をしのばせ、内に人間の  
温みを見せ、眼光には、悪を許さぬ厳しいものが  
あり、あたかも生前の先生と許される錯覚さえい  
だく出来ばえです。

製作には常滑市在住の彫像師片岡静観先生があた  
られました。若水町の方へ御越しの折は是非、御  
立ち寄り下さいませ。

尚胸像建立にあつたての会計報告は次の通りです。

## 会計報告

(醸金之部)

同窓生有志 一、八九二、五〇〇円  
中・高校教職員有志 一九九、〇〇〇円  
学園事務局有志 一五二、〇〇〇円  
学園警備部有志 六、〇〇〇円  
県体育協会・県技芸委員会 七三五、〇〇〇円  
県体育協会・県市体育課 五〇、〇〇〇円  
県体育館 五〇、〇〇〇円  
スポーツ会館 五〇、〇〇〇円

(支出之部)

胸像 七〇万円  
樹木 二〇〇万円  
石木 三〇〇万円  
一五、五〇〇円の不足分は同志会費より充当させ  
て頂きましたので御了承下さいませ。 会計係

(敬称略)

(ア之部)

荒川文吉、荒川章  
安藤静夫、浅沼勲  
安藤静夫、浅沼勲  
青山資郎、浅井忠義  
浅見繁、浅野一光  
新井輝彦、有川満泰

(イ之部)

岩瀬忠、石野清

(ウ之部)

奥村金光、奥村広司

(エ之部)

川口俊明、壁谷守

(オ之部)

小林孝夫、楳原孝一

(カ之部)

高崎三男、武久清

(キ之部)

佐藤正治、原部正治

(ク之部)

三輪順逸、水谷文男

(ケ之部)

水谷文男、水野寿久

浅井英雄、安藤明  
株式会社愛知電機製作所  
名電同窓会  
株式会社愛知電機製作所  
名電同窓会

小川忠治、太田修  
大野俊之、小野馨  
大野俊之、小野馨  
大野俊之、小野馨

神村弘、梶田年男  
加藤年一、柏原一  
加藤年一、柏原一

梶田正紀、鬼頭弘  
梶田正紀、鬼頭弘  
梶田正紀、鬼頭弘

佐々木武、坂倉光昭  
佐々木武、坂倉光昭  
佐々木武、坂倉光昭

住田敏春、鈴木康太郎  
住田敏春、鈴木康太郎  
住田敏春、鈴木康太郎

辻寿子、筒井章次  
辻寿子、筒井章次  
辻寿子、筒井章次

原部正治、原部正治  
原部正治、原部正治  
原部正治、原部正治

三輪順逸、水谷文男  
三輪順逸、水谷文男  
三輪順逸、水谷文男

水谷文男、水野寿久  
水谷文男、水野寿久  
水谷文男、水野寿久



前学園長故後藤鉦二先生胸像建立醸金  
協賛者御芳名

大石恒夫、大塚信政  
大塚信政、大塚信政  
大塚信政、大塚信政

山田清治、山田清治  
山田清治、山田清治  
山田清治、山田清治